

超小型モビリティ用の高効率モータ

(株)TOP (越前市)

平成 29 年度
平成 30～令和元年度
令和 2 年度

地域資源活用共同研究事業
地域科学技術振興研究事業
(エネルギー構造高度化・転換理解促進事業)
(公財) ふくい産業支援センター 共同研究事業



開発したモータを搭載した小型モビリティ

問合せ先 佐々木善教、金属加工研究 G

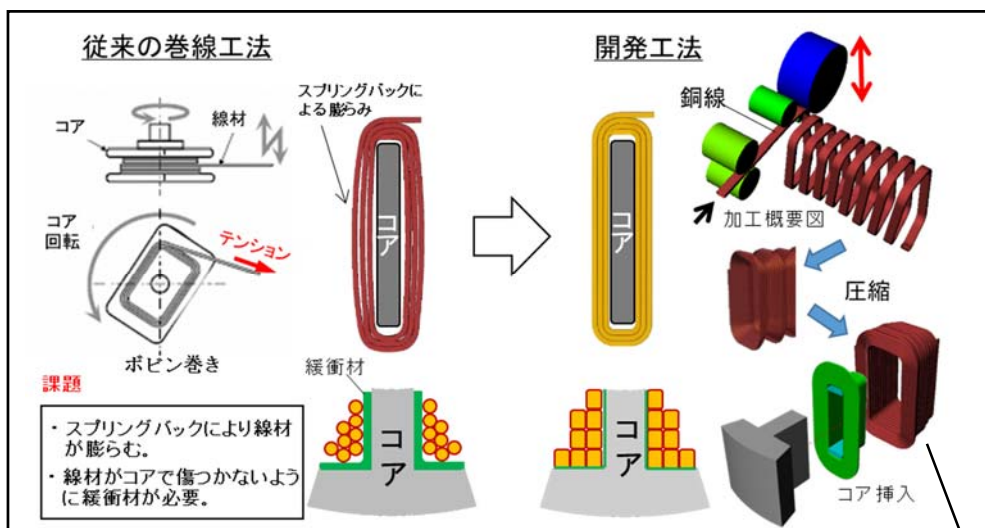
背景と経緯

(株)TOP は、超小型モビリティ用の高効率モータを開発しました。

モータのコイルの銅線を太くするほど電気抵抗が下がり効率が上がりますが、従来のコイル製造方法では、銅線が膨らんでしまうため太線化は困難でした。(株)TOP と福井県工業技術センターは、眼鏡のリム枠加工技術の応用により、平角銅線を空芯状のコイルに加工した後、コアを挿入する工法を開発しました。従来の方法と比較して、太い銅線を高密度に巻けることが特徴です。

成果と製品化の状況

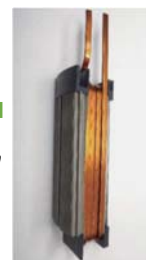
(株)TOP は、開発したモータを搭載した超小型モビリティの試験走行を越前市内で行っており、製品化に向けて性能評価や改良に取り組んでいます。



開発モータ
を搭載



ステータ
組付け



コア等
組付け

